

2025年度後期活動報告

みんなのSAVON研究室

石けん作りの楽しさを

ひまし油100%の石けんってどんな石けんだろう？

からスタートした企画を今回はお伝えします。

ひまし油の石けん配合率と泡立ちの検証

ひまし油の配合率を変化させ、泡立ちと石けんの成り立ちについての検証を行いました。

検証方法は、HSAハンドメイド石けん協会テキストに記載のBASIC TRAINING1(ピュアオリーブオイルレシピ)を基本にひまし油の配合分を他のオイル合計量から差引き、油脂総量、その他の油脂の配合率は変化させない方法で行っています。

【担当者】

20%	内藤嘉彥さん	村山富子さん	AROMA POLEPOLE(
40%	林 美和さん	PAQUET CADEAU M	ひらこ かずこさん	手作り石けん教室	クオッカ
60%	若山クミカさん	石けん工房	ローザローザ	酒井 恭子さん	NICOTOWA-LELIEN
80%	関戸 真帆さん	サポネッタ	いいだ あやこ	アロマと手作り石けん教室	ROOMSEALIAH
100%	石神有希子さん	PURE DROP~ひとしづく~			

20%配合の様子 内藤 嘉久

レシピ:ひまし油50G、ピュアオリーブオイル100G、パーム核油60G、パーム油40G

水分量30% けん化率90% 作成日時 11/22 天気 晴れ
室温 26℃ 湿度 38%



42℃のお湯で泡立て

泡立ちは早く、キメの細かい泡ができた

時間をおいても、泡の変化は殆どなく、泡持ちも良い。

使用感にあわもしっかり立つ、ツツパリ感もなく、皮脂が残っている
感じもなく、良い石けんという印象。

浴室のソープディッシュに置いていても、溶け崩れもなく
石けんの持ちも良い



泡立て直後



4時間後



20%配合の様子 村山 富子

レシピ：ひまし油50G、ピュアオリーブオイル100G、パーム核油60G、パーム油40G

水分量30% けん化率90% 作成日時 12/1 AM5:20天気 晴れ
室温 18℃ 湿度 76%



15分程でトレースがでだし、けん化は早い。
柔らかかったなので2日後に型から取り出す。

石けんの固さ 固まるとやや硬い

溶け崩れやすさ くずれにくい

泡立ち とても良い

泡持ち とても良い

泡のキメ 細かくふんわりとした泡で保湿感が続く



40%配合の様子 林 美和 Pacuet Cadeau M



5分後の生地の様子



ひまし油40%の泡



ひまし油40%の石けん

ひまし油	100g		
オリーブ油	75g	温度	14°C
パーム核油	45g	湿度	55%
パーム油	30g	天気	晴れ
水分	75g		
苛性ソーダ	32g		

手混ぜ1分でトレース出る
5分で垂めトレースになる
型入れ もったり

固さ やわらかめ
泡立ち 普通
泡持ち 普通
泡感 細かく柔らか
泡切れ 良い
使用感 しっとり

【各%の使用感】

ひまし油の%が上がるほど泡立ちにくく
泡持ちもよくない

どの%の石けんも泡切れは良く 洗い上りはしっとり

40%配合の様子 ひらこ かずこ
手作り石けん教室 クオツカ

レシピ：ひまし油100G、ピュアオリーブオイル75G、パーム核油45G、パーム油30G

水分量30% けん化率90% 作成日時 10/13 曇り
室温 25℃ 湿度 41%

石けんの様子 黄色味があった感じ。

40%の配合はトレースが出るのが早く驚きましたが
泡立ちも良く、泡持ちもあり、保湿感を感じることができ

乾燥肌や敏感肌の方向けの石けんに良いのでは
ないかと思いました。



60%配合の様子 若山クミカ 手作り石けん工房ローザローザ



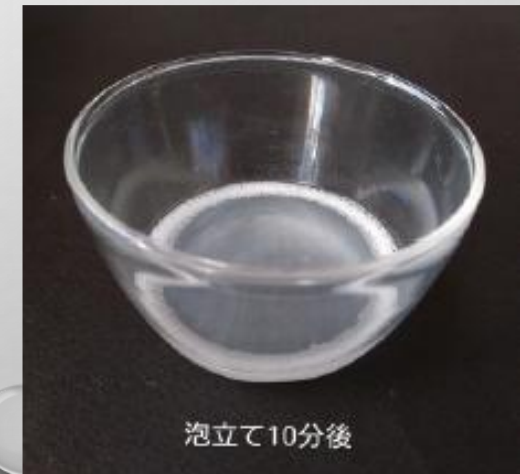
レシピ：ひまし油150G、ピュアオリーブオイル50G、パーム核油30G、パーム油20G

水分量30% けん化率90% 作成日時 10/13 曇り
室温 25℃ 湿度 41%

石けんの様子は制作翌日も柔らかく、三日後にカットした。

石けんの使用感

キメの細かい泡立ちで10分後には泡はすっかり消える。
手を洗うと石けんが手に吸い付くような感触。
水分を含むと溶け崩れやすい。
洗った後はつるつとする感じはある。
使い心地は良くない。ツツパリ感はない。





60%配合の様子 酒井恭子 NICOTOWA-LE LIEN

レシピ：ひまし油150G、ピュアオリーブオイル50G、パーム核油30G、パーム油20G

水分量30% けん化率90% 作成日時 12/4 天気 晴れ
室温 22.6℃ 湿度 33%



13分程でトレースがでだし15分で型入れした。

生地感じはこってりとしている。

20%、40%に比べ泡立ちも早く泡の感じも細かく立体感のあるまとまった泡ができた。
洗顔では洗い上がりは保湿感を感じ、その後さらっとさっぱりした感じが印象的だった。

80%配合の様子 いいだ あやこ アロマと手作り石けん教室RoomSealiah

レシピ:ひまし油200g、ピュアオリーブオイル25g、パーム核油15g、パーム油10g

水分量30% けん化率90% 作成日時 11/28 PM 2:00天気 晴れ
室温 20℃ 湿度 30%

トレースはあっという間に出だし、暫くのちに型入れした。

石けんの固さ グループでの泡立ち検証までは約1ヶ月半程経過。固まるとかなり固く水分を吸収するまでは泡が立たない。

泡立ちは、最初泡が立たないが、水分を含んでくるとモコモコと立体感のある泡が出だし、体感したメンバー全員の意見がしっかりした泡立ちと細かくしっかりした泡で使用後は保湿感が続く。しっとり感のあと、直ぐに肌がサラサラすることも60%と似ていた事が共通した。

メイク後洗顔してみたが、やはり皮脂が残る感じはあるが、保湿感は素晴らしかった。



80%配合の様子 関戸 真穂 サポネッタ

- レシピ:ひまし油200G、ピュアオリーブオイル25G、パーム核油15G、パーム油10G

まず感じたのは、トレースが非常にゆっくりである点でした。
通常レシピに比べて反応は穏やかで、ブレンダーを使用しても変化は緩やか。
じっくり攪拌を続ける必要がある配合だと感じました。

泡立ちテスト

少量で泡立ちを確認。

泡は非常にきめ細かく繊細な印象。

一方で、泡の持続は短めで、約3分ほどで自然に消える様子が見られました。
石けんとして使用するには難しい配合だと感じました。



観察項目	印象
泡のきめ	非常に細かい
泡質	軽い
泡持続	やや短め(約3分)
総合印象	持続性は短い

100%配合の様子 石神有希子 PURE DROP～ひとしずくから～

レシピ: ひまし油250G

水分量30% けん化率90%



型入れ直後



攪拌してから1分も経たないうちにもったり。3分ほどで型入れできる状態。
型入れはかなり生地がもっちり、あんこのよう。

型出し



1週間の熟成期間を経て型だし型から出すときかなり力が必要。表面はごつごつして、押すとへこまない。端っこ部分がジェル化している。

泡立ち



冷水で泡立てたら、まったく泡立たない。細かい泡から小さな泡は立つがすぐに消える。ネットを使って多少泡だったがほとんど差が無いくらいの泡立ち。

使用感

普通にしっとりする。泡立たないので、泡切れは検証しにくい。ローションバーのような使用感。

まとめ

今回は配合率により検証結果にも個々で大きな差がある結果となりましたが、アンケートの結果 20%~40%の配合率に人気が集中しました。乾燥肌の人には60%も良いとの意見もあり、石けんとして成り立つ配合は40%あたりまでで、それ以上は保湿感が出て汚れの落ち具合が減る様子でした。

汚れを落とすという役割からみると、20%配合が一般的となりました。ひまし油100%の石けんはちゃんと固まり、寧ろ固く、泡が立たなかったことは全員でびっくりな結果でした。

今後のレシピ作りに、ひまし油を多めに入れてみようとするメンバーもいたり、レシピ作りに役立つ内容となりました。皆様のお役に立てれば幸いです。